

2025年度まちづくりネットモニター第10回調査結果
テーマ「東山霊園・東山悠苑の施設のあり方について」



市民の皆さまの「お墓」への考え方や「東山悠苑」について感じていることや望んでいることを把握し、今後の施策に活かすためアンケートを実施しましたので、その結果についてお知らせします。（環境政策課）

【調査結果】

- 調査期間 2025年9月19日(金)～9月28日(日)（10日間）
- モニター数 427名（男性 185名 女性 241名 不明 1名）
- 回答者数 381名（男性 161名 女性 219名 不明 1名）
- 回答率 89.2%

【分析】

《回答者内訳》

(人)

性別/年代	10～20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	合計
男性	5	12	30	39	36	25	14	161
女性	13	29	64	62	40	10	1	219
不明	1							1
合計	19	41	94	101	76	35	15	381

《第1章 「お墓」の考え方について》

- ・「承継者はいる・将来いる」との回答は69.6%となっており2022年以降横ばい傾向であるが、「承継者はいない・承継させたくない」との回答は2020年から2025年にかけて20.1%から8.6ポイント増加し28.7%となっている。（問2）
- ・2020年から2025年にかけて「墓じまいを考えている」との回答は20.7%から12.4ポイント増加し33.1%となっている。（問3）

《第2章 「樹木葬型合葬墓」について》

- ・希望するお墓として29.7%が「一般的な墓地」、18.6%が「樹木葬型合葬墓」、10.5%が「合葬墓」と回答。（問8）
- ・樹木葬型合葬墓を利用したい理由として「お墓の使用権を承継する必要がない」が69.1%で最も高く、次いで「自分で維持管理をする必要がない」が64.7%、「自然に還れるイメージが良い」が58.1%であった。（問10）
- ・樹木葬型合葬墓の整備について気になる点として「使用料がいくらになるか」が60.4%で最も高く、次いで「希望したときに申込みができるよう埋蔵数が十分確保されるか」が46.5%であった。（問13）

《第3章 火葬場「東山悠苑」について》

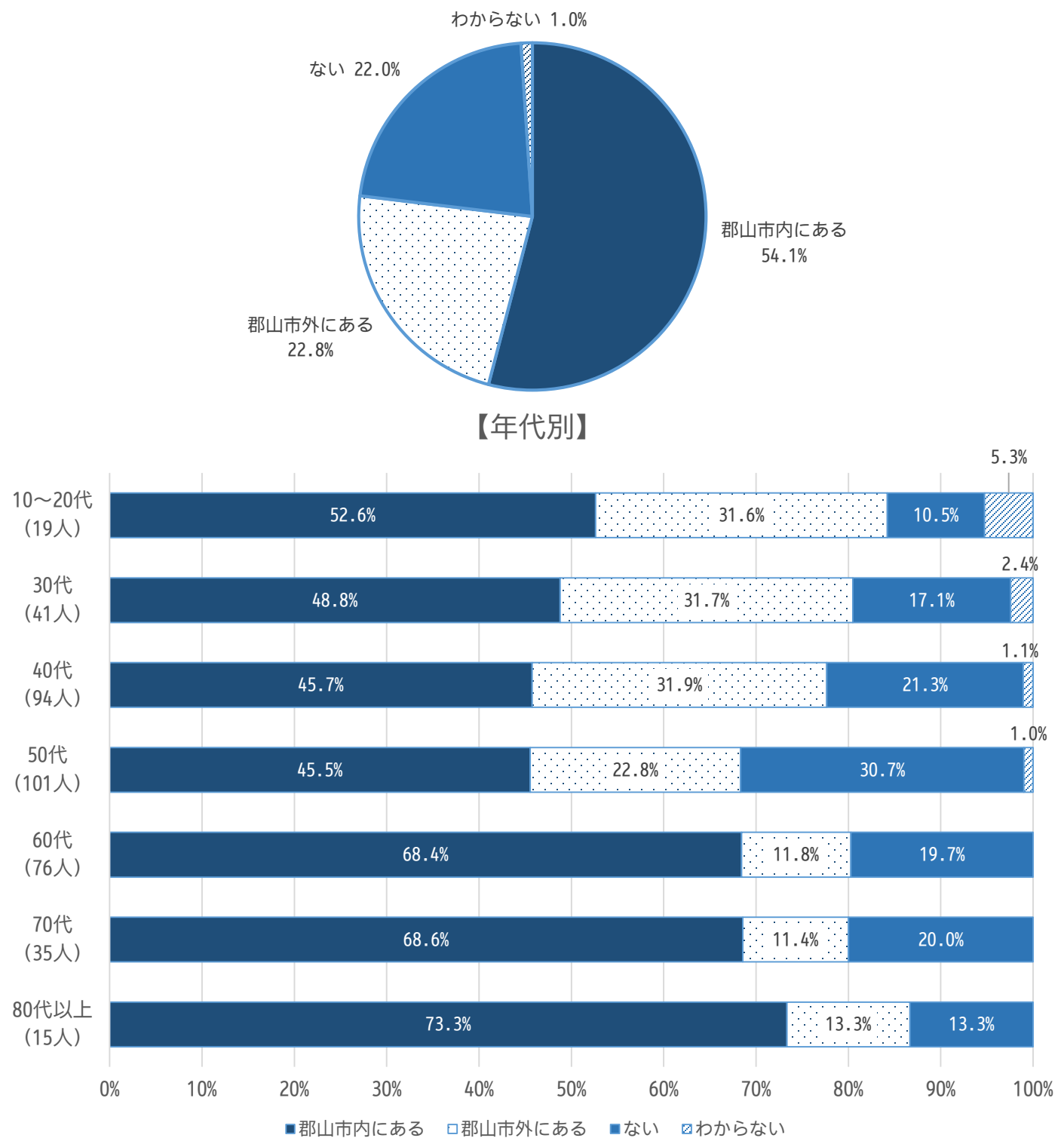
- ・東山悠苑の運営や設備等について期待する点として、「火葬まで待ち日数がなく火葬ができる」が42.8%で最も高く、次いで「運営スタッフの丁寧な対応」が38.3%であった。（問15）

【考察】

- ・問2から今後も核家族化により承継者が不在となるお墓が増えていくことが考えられる。東山霊園一般墓所でも同様に無縁となるお墓が増えていくことが考えられることから、無縁墳墓対策が必要である。
- ・また、問3から墓じまいを考えている方が増えていることから、東山霊園合葬墓といった承継者や維持管理が不要な形態のお墓の需要が増えていることが考えられる。
- ・問8から「一般的な墓地」の需要が最も高いが、前年と比較すると「樹木葬型合葬墓」の需要が高くなっている。
- ・今後、火葬件数の増加が見込まれることから、社会情勢の変化に伴い待ち日数がなく火葬ができる環境の整備を行う必要がある。

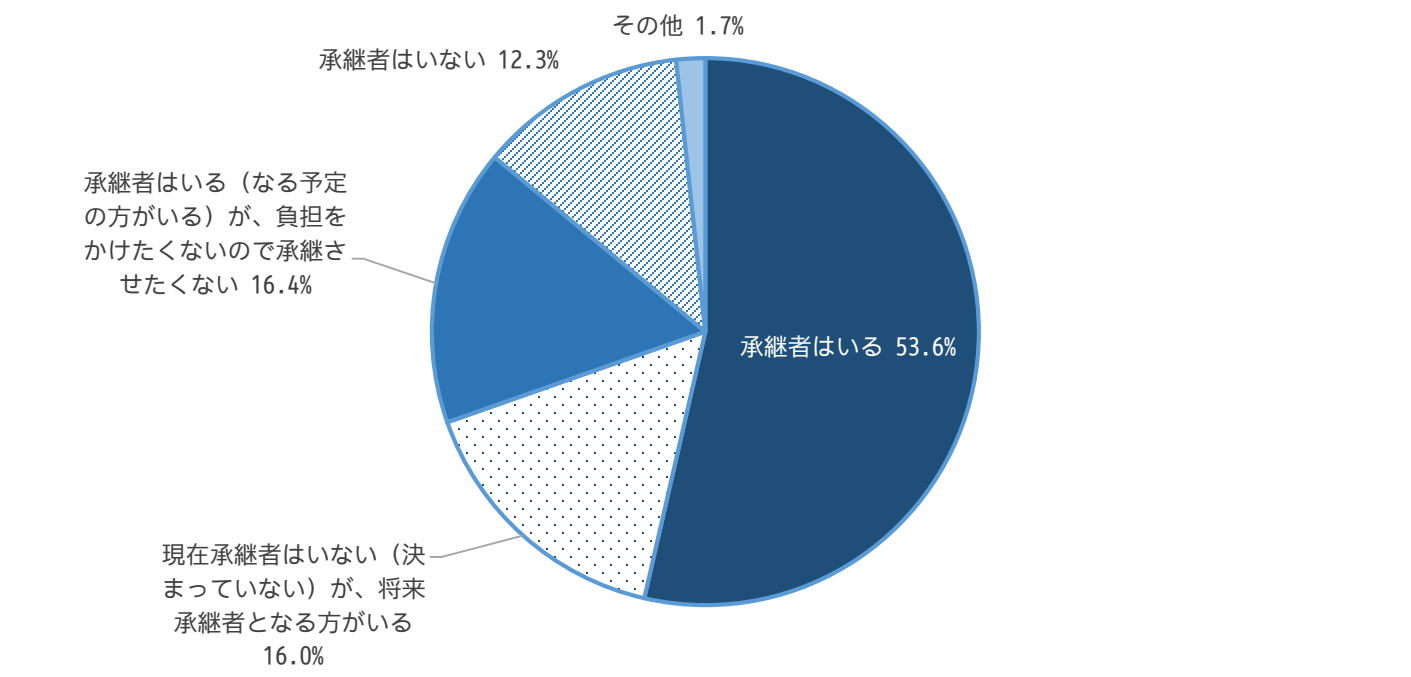
第1章 「お墓」の考え方について

問1 現在、あなたや家族が使用することができるお墓がありますか？（1つ選択）（回答者：381人）

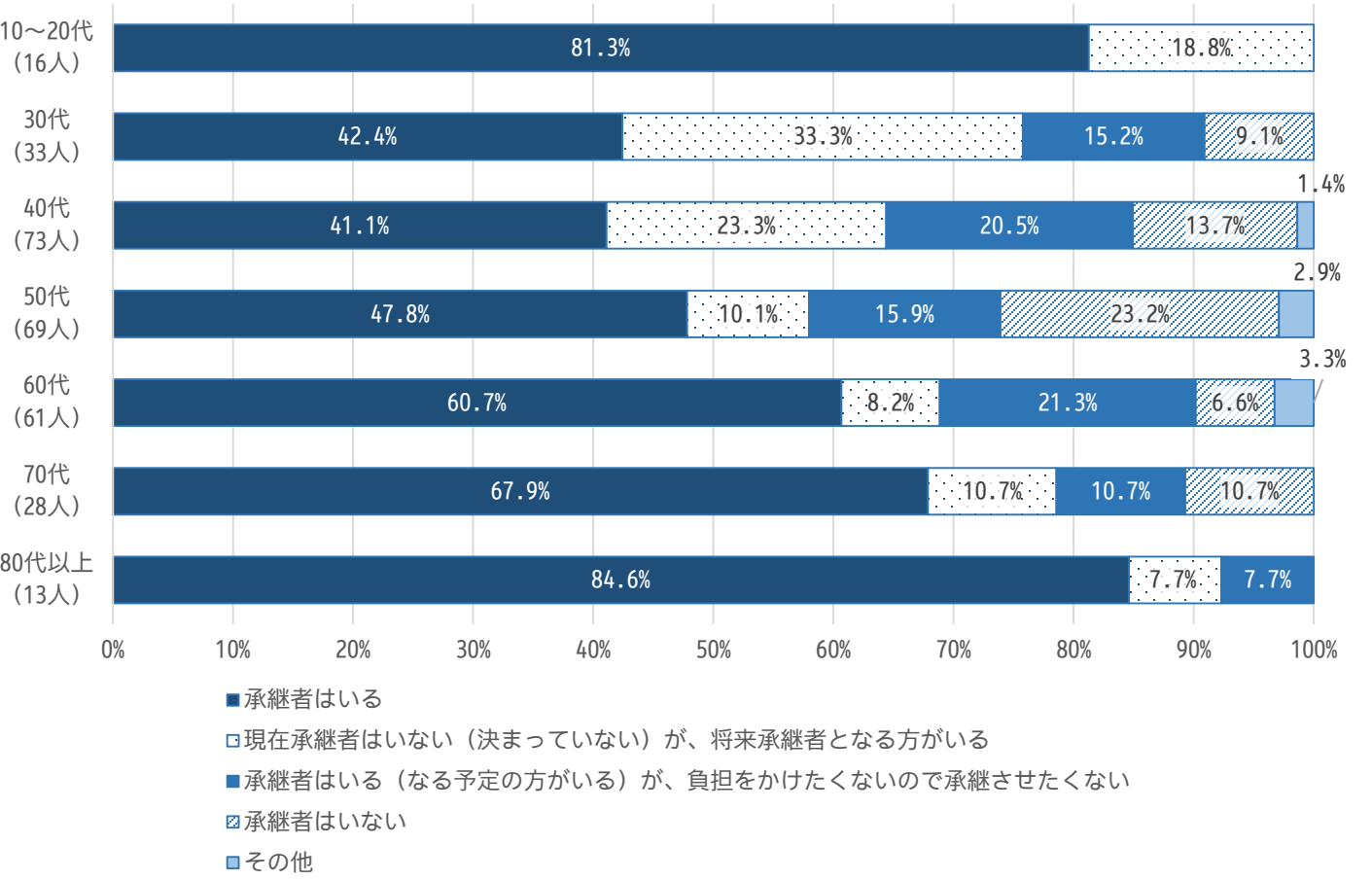


「郡山市内にある」が54.1%、「郡山市外にある」が22.8%、「ない」が22.0%であった。使用することができる墓地があるとの回答が郡山市内外合わせて76.9%であった。

問2 問1で「郡山市内にある」「郡山市外にある」と回答された方にお伺いします。
お墓の承継者はいますか？（1つ選択）
(回答者：293人、全体の76.9%)

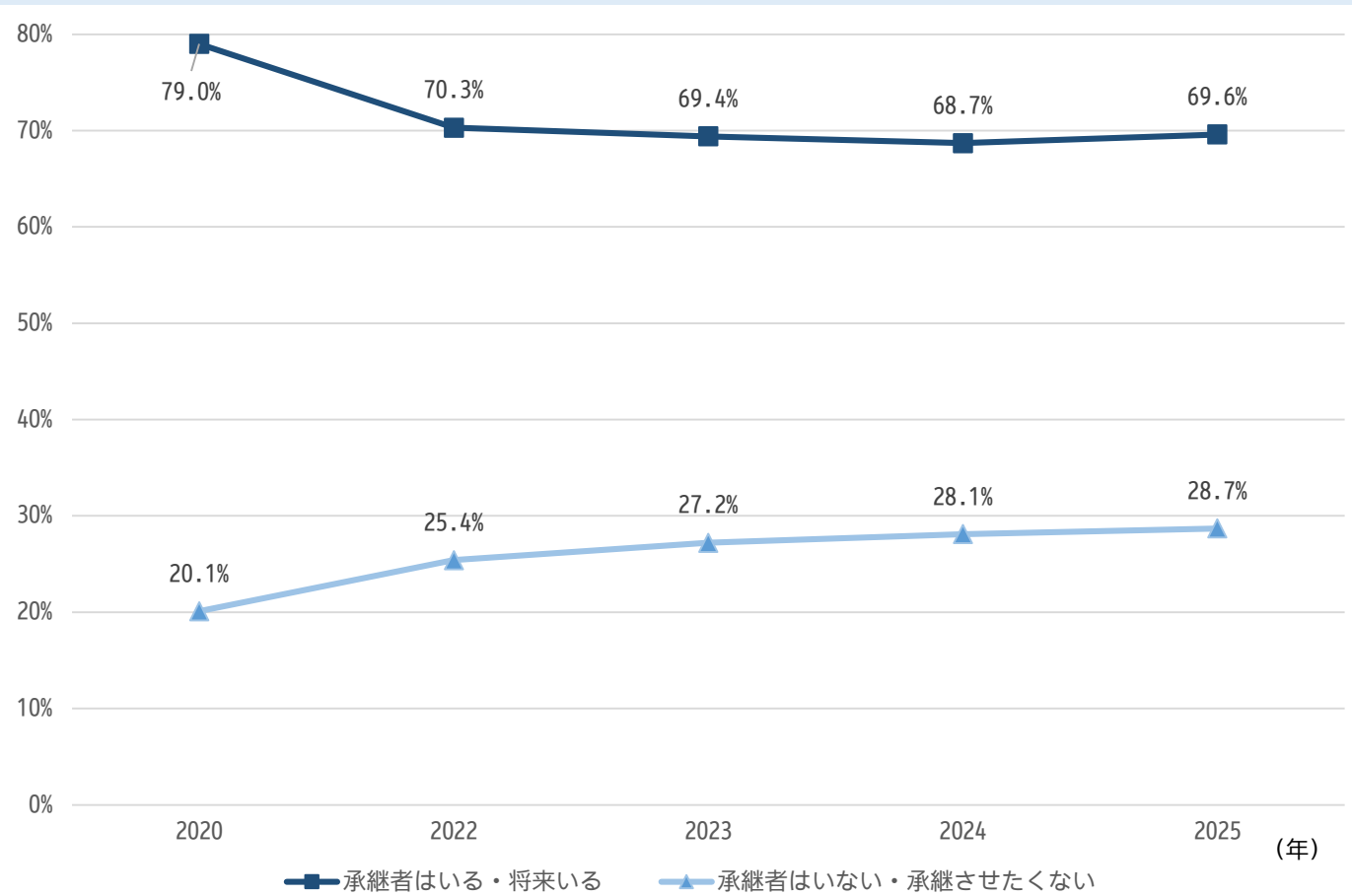


【年代別】



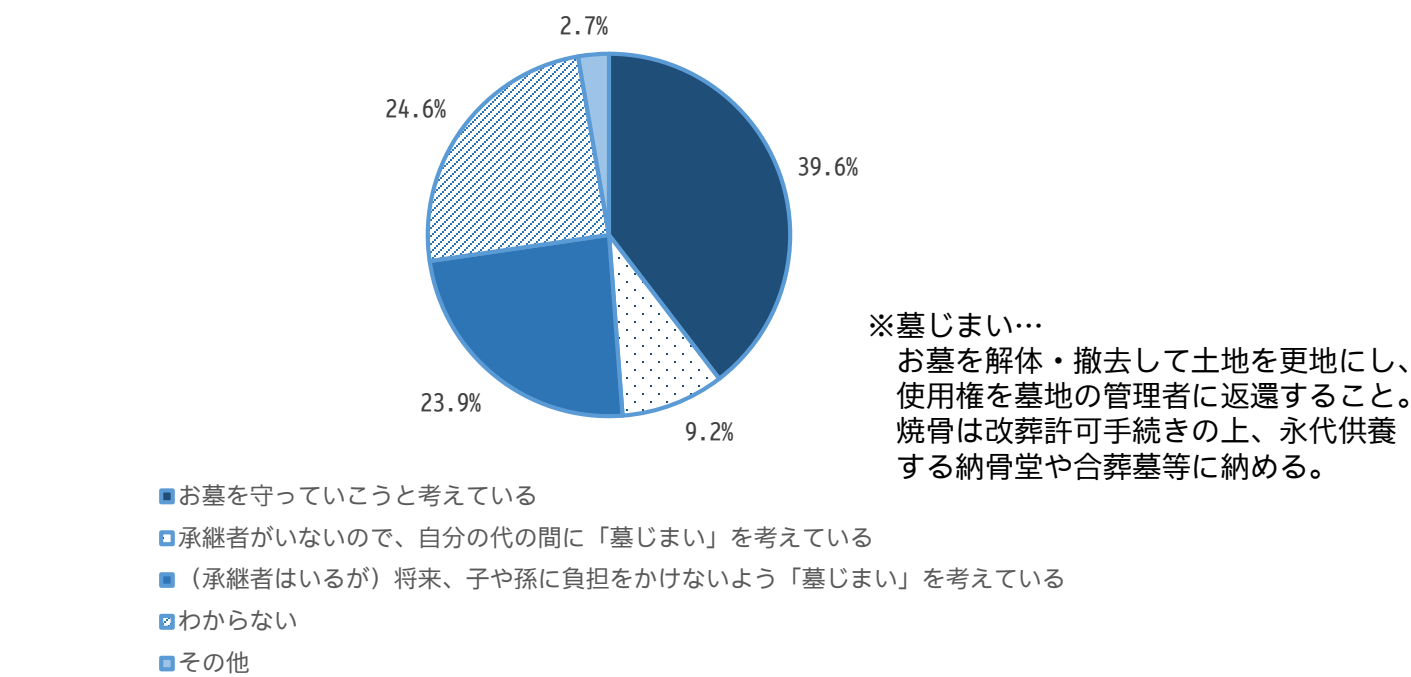
「承継者はいる（予定を含む）が、負担をかけたくないで承継させたくない」が16.4%、「承継者はいない」が12.3%であった。墓地所有者の約3割の方が墓地の承継について問題を抱えている回答であった。年代別では、50代が「承継者はいない」との回答の割合が23.2%と最も高い。

・承継者の有無の過去調査からの推移



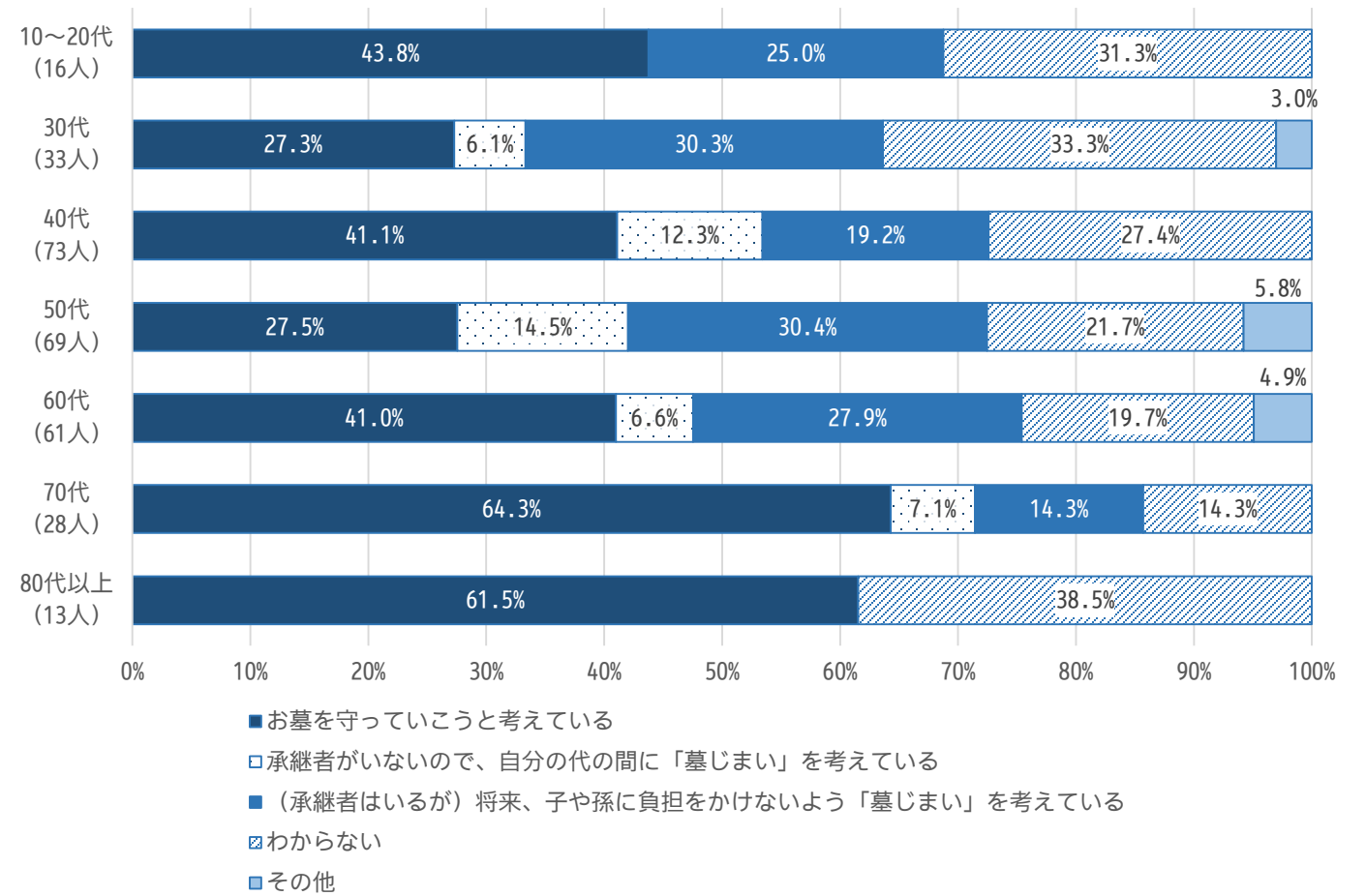
「承継者はいる・将来いる」との回答は69.6%となっており2022年以降横ばい傾向であるが、「承継者はいない・承継させたくない」との回答は2020年から2025年にかけて20.1%から8.6ポイント増加し28.7%となっている。→年々、核家族化が進みお墓の承継者が不在となってきたことが考えられる。

問3 問1で「郡山市内にある」「郡山市外にある」と回答された方にお伺いします。現在使用しているお墓を将来にわたって守っていきたいと考えていますか？（1つ選択）（回答者：293人、全体の76.9%）



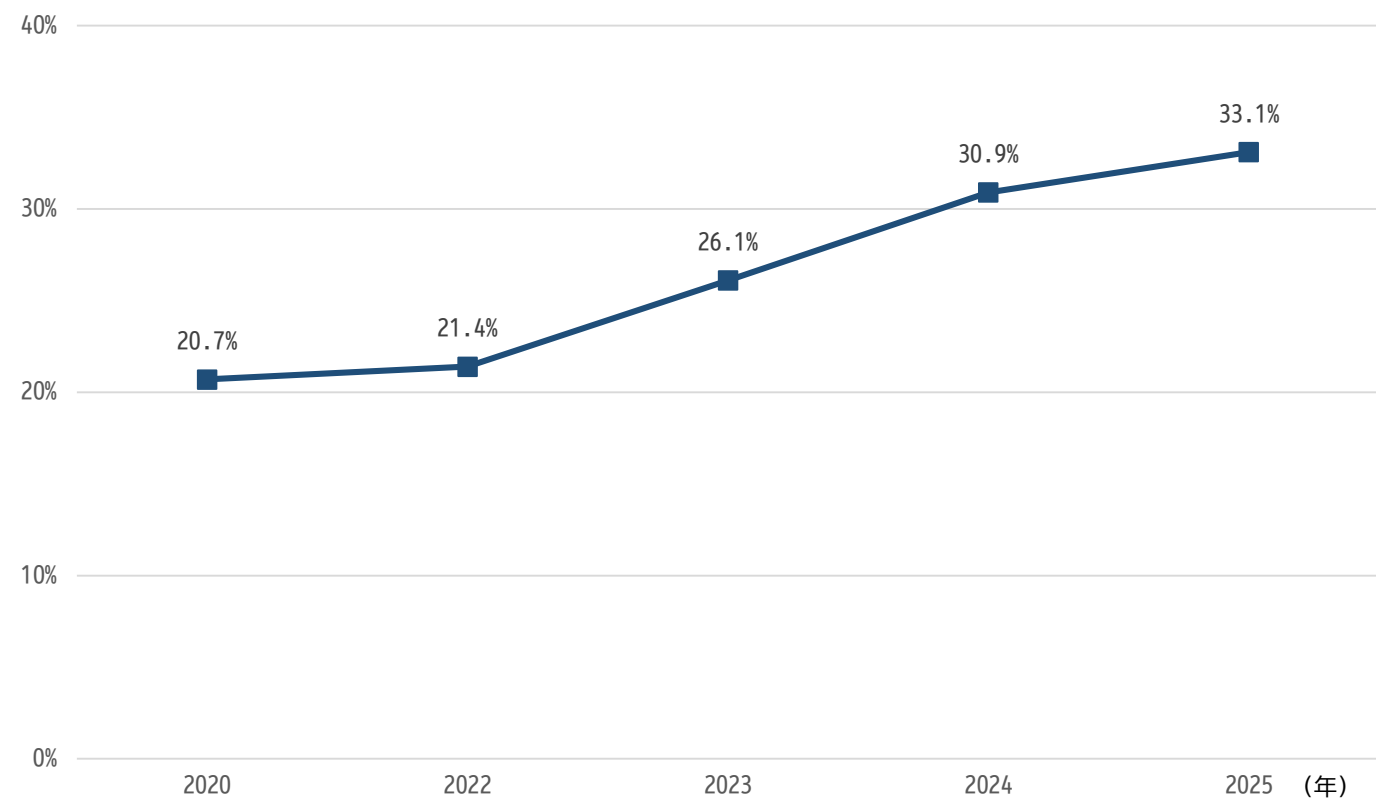
※墓じまい…
お墓を解体・撤去して土地を更地にし、
使用权を墓地の管理者に返還すること。
焼骨は改葬許可手続きの上、永代供養
する納骨堂や合葬墓等に納める。

【年代別】



「お墓を守っていこうと考えている」が39.6%、「承継者はいるが「墓じまい」を考えている」が23.9%、「承継者がいないので「墓じまい」を考えている」が9.2%の回答であり、33.1%が「墓じまい」を考えているとの回答であった。

・墓じまいを考えている方の過去調査からの推移

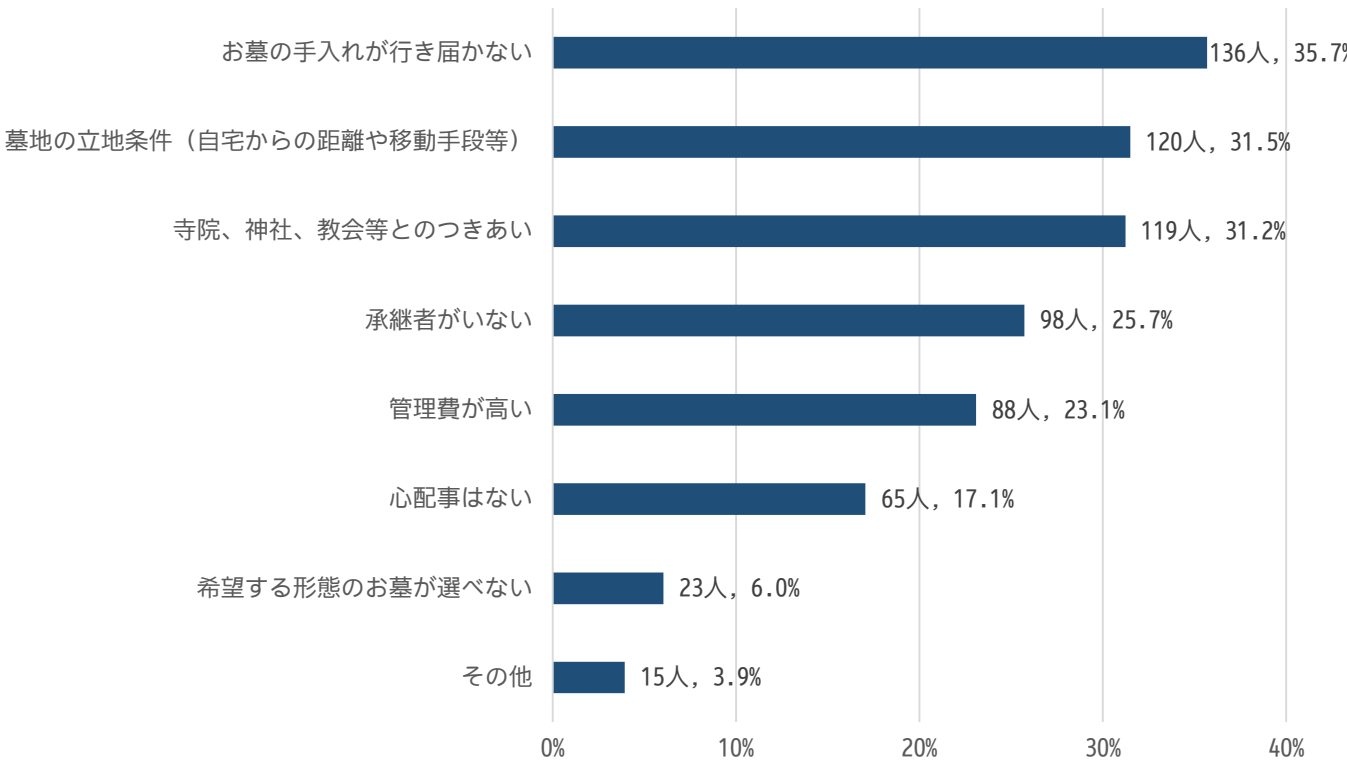


2020年から2025年にかけて「墓じまいを考えている」との回答は20.7%から12.4ポイント増加し33.1%となっている。
→お墓の承継者が不在という方が増えていることに伴い、墓じまいを考えている方が増えていると考えられる。

※複数回答の比率は、その設問の回答者数を基数として算出しました。
したがって、すべての比率を合計すると100.0%を超える場合があります。

問4 将来も含めお墓に関して心配事がありますか？（複数選択可）

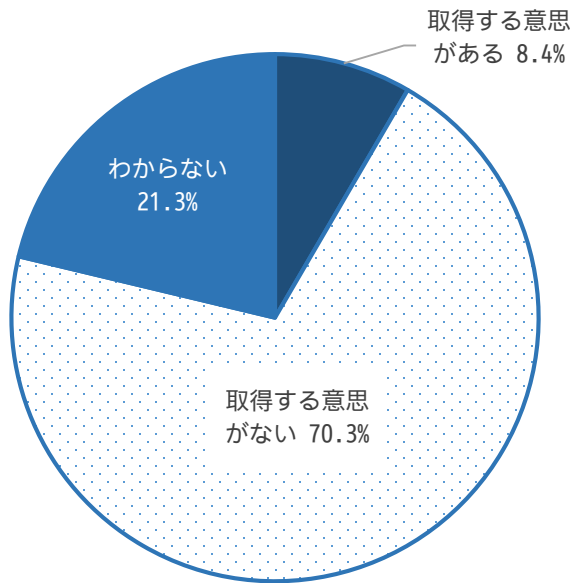
(回答者：381人)



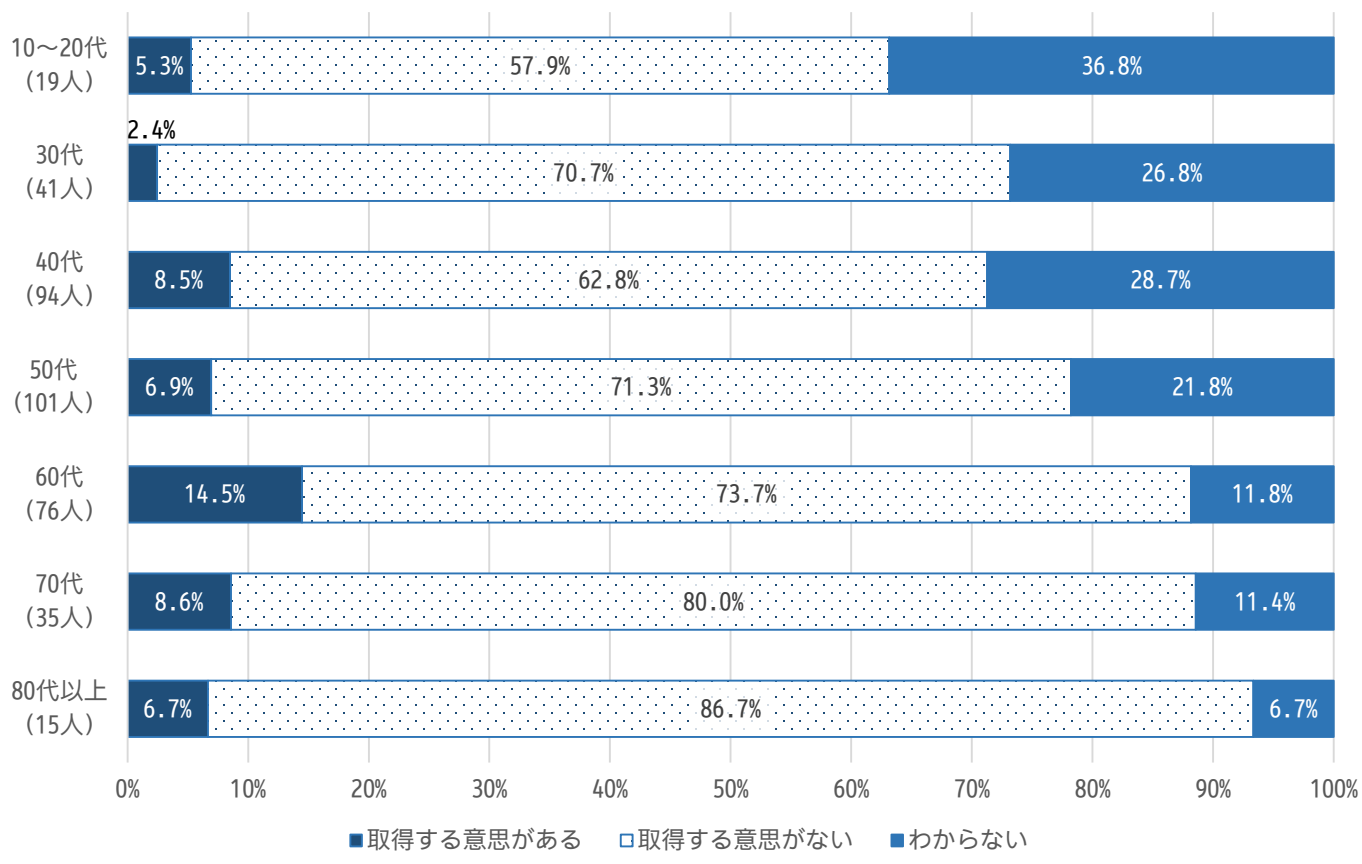
※「その他」を選択した方の主な意見

- ・継承者はいるが、いつまで続くか分からない
- ・承継者はいるが居住地を他県に構えているので、将来が不安である

「お墓の手入れが行き届かない」が35.7%で最も高く、次いで「墓地の立地条件（自宅からの距離や移動手段等）」が31.5%であった。
→お墓の維持管理や墓参りの負担を軽減したいという考えが、墓じまい件数の増加要因の一つとなっていると考えられる。

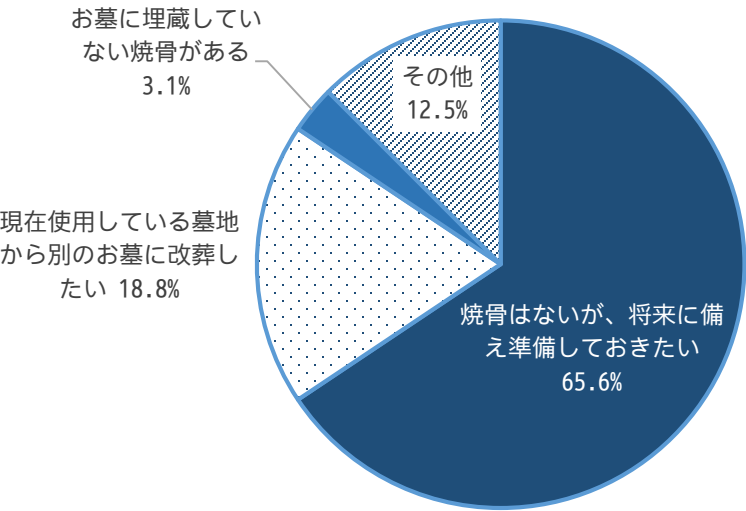


【年代別】



「取得する意思がない」が70.3%で最も高い。「取得する意思がある」は8.4%であった。

問6 問5で「取得する意思がある」を選択した方にお伺いします。新たにお墓を取得する必要がある理由は何ですか？（1つ選択）
(回答者：32人、全体の8.4%)

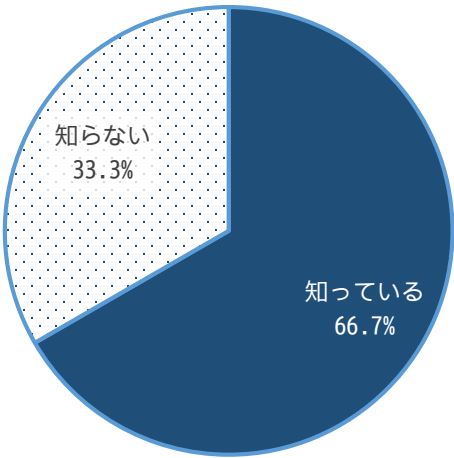


※「その他」を選択した方の主な意見
・現在のお墓に長男が入ったので、自分の墓を同敷地内か近隣地に建てる予定

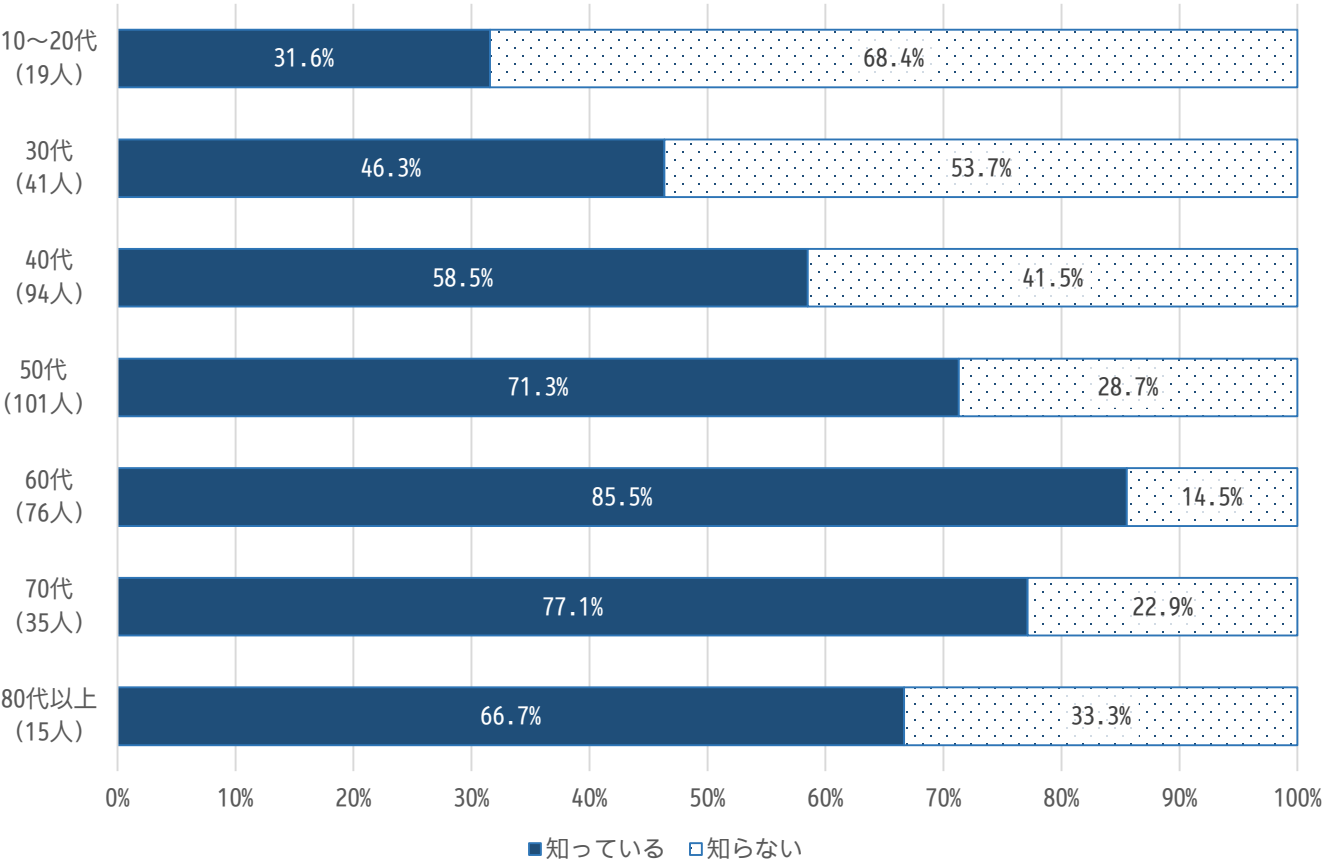
新たにお墓を取得する必要がある理由は、順に「遺骨はないが将来に備え準備しておきたい」が65.6%、「現在使用している墓地から別のお墓に改葬したい」が18.8%、「お墓に埋蔵していない焼骨がある」が3.1%であった。

問7 「樹木葬型合葬墓」という形態のお墓を知っていますか？（1つ選択） (回答者：381人)

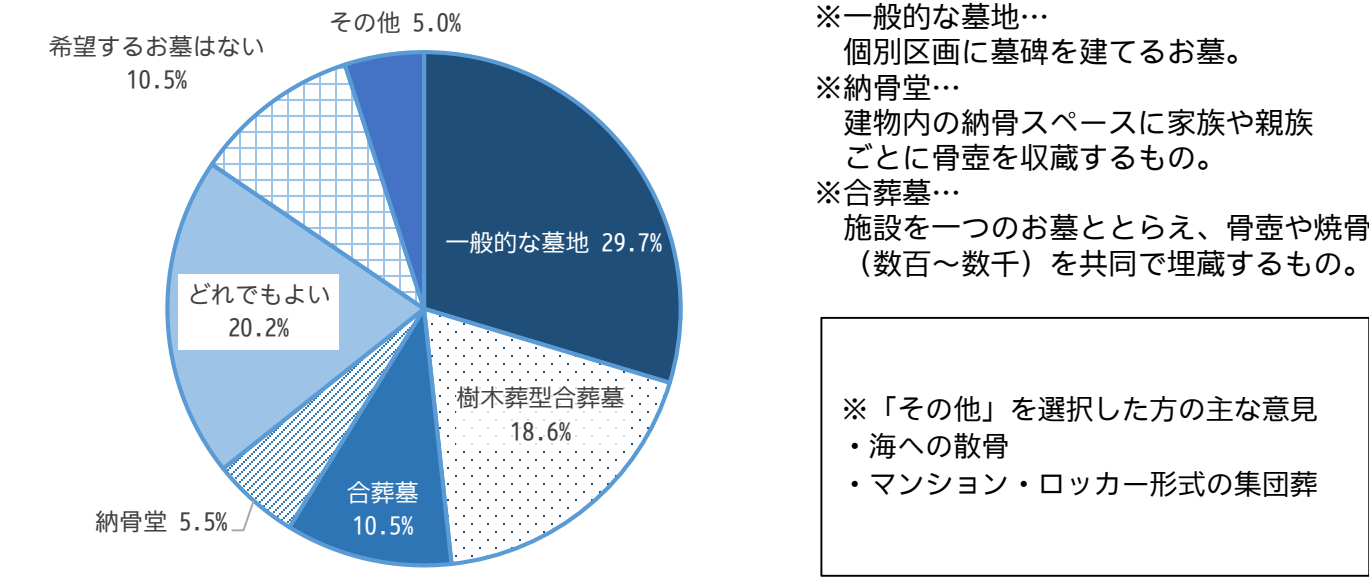
※樹木葬型合葬墓…墓石の代わりに樹木や草花を墓標とし、その下に骨壺や焼骨を共同で埋蔵するもの



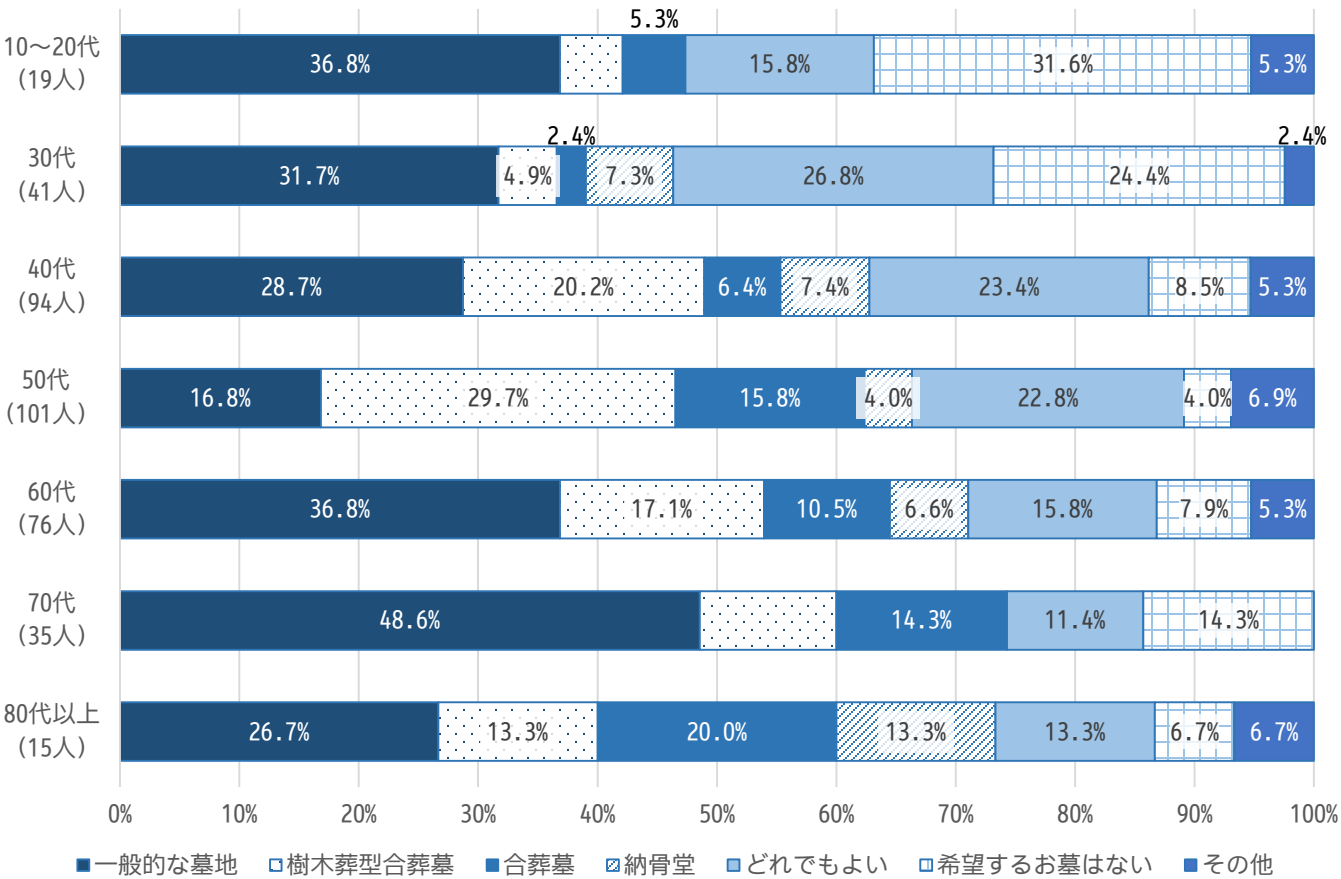
【年代別】



樹木葬型合葬墓を「知っている」が66.7%、「知らない」が33.3%であった。

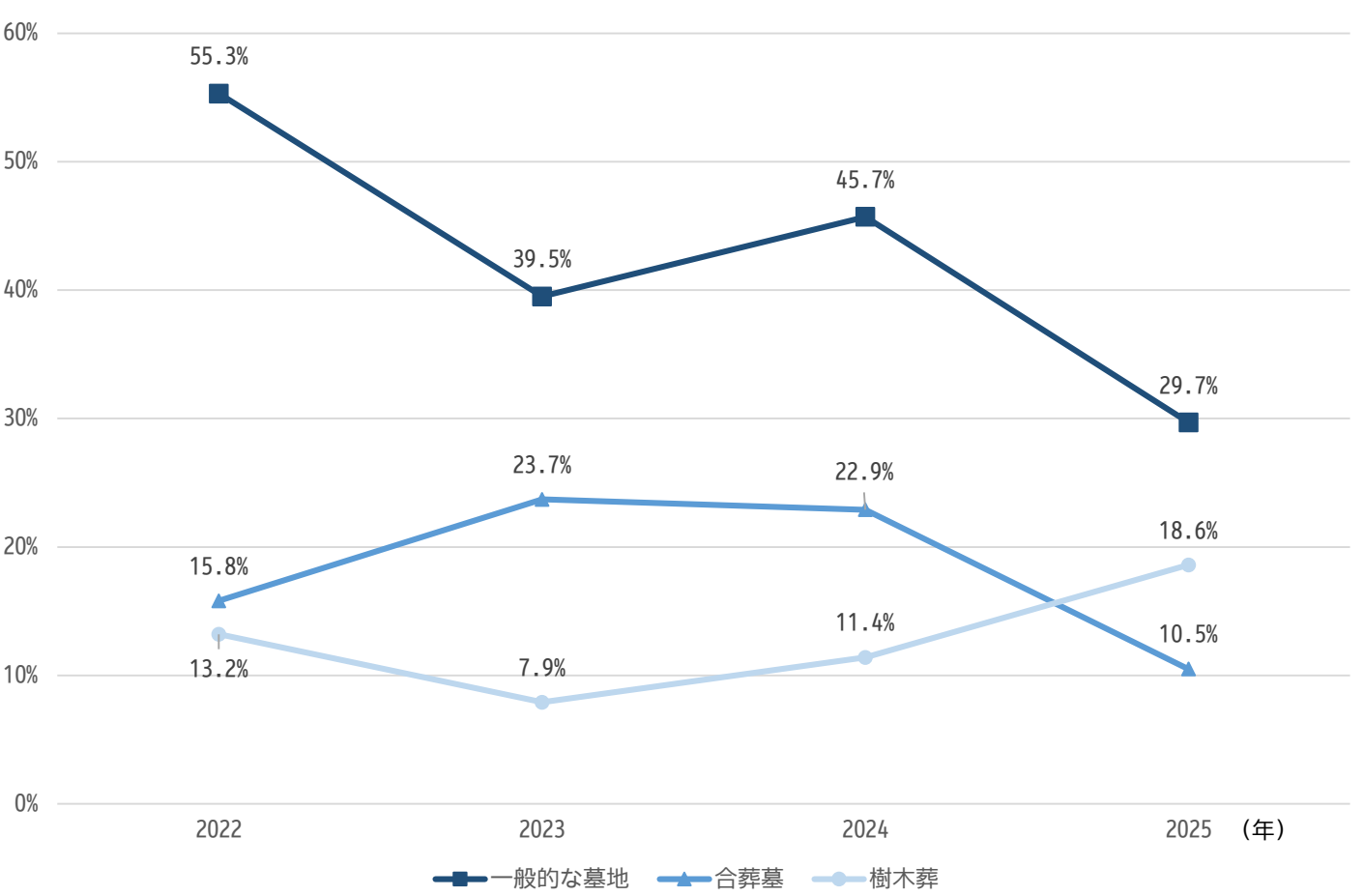


【年代別】



「一般的な墓地」が29.7%、「樹木葬型合葬墓」が18.6%、「合葬墓」が10.5%、「納骨堂」が5.5%、「どれでもよい」が20.2%、「希望するお墓はない」が10.5%であった。

・取得を希望するお墓の種類の過去調査からの推移



「一般的な墓地」を希望する回答は、2024年から2025年にかけて45.7%から16.0ポイント減少し29.7%となっている。

「合葬墓」を希望する回答は、2024年から2025年にかけて22.9%から12.4ポイント減少し10.5%となっている。

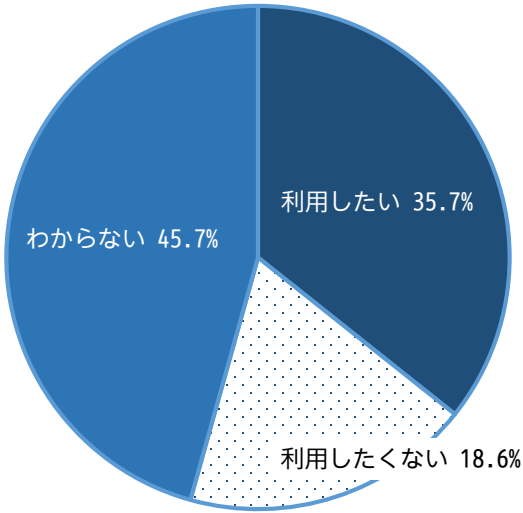
「樹木葬型合葬墓」を希望する回答は、2023年から2025年にかけて7.9%から10.7ポイント増加し18.6%となっている。

→前回調査時と比べ一般墓所、合葬墓を希望する方が減少し樹木葬型合葬墓を希望する方が増加している。

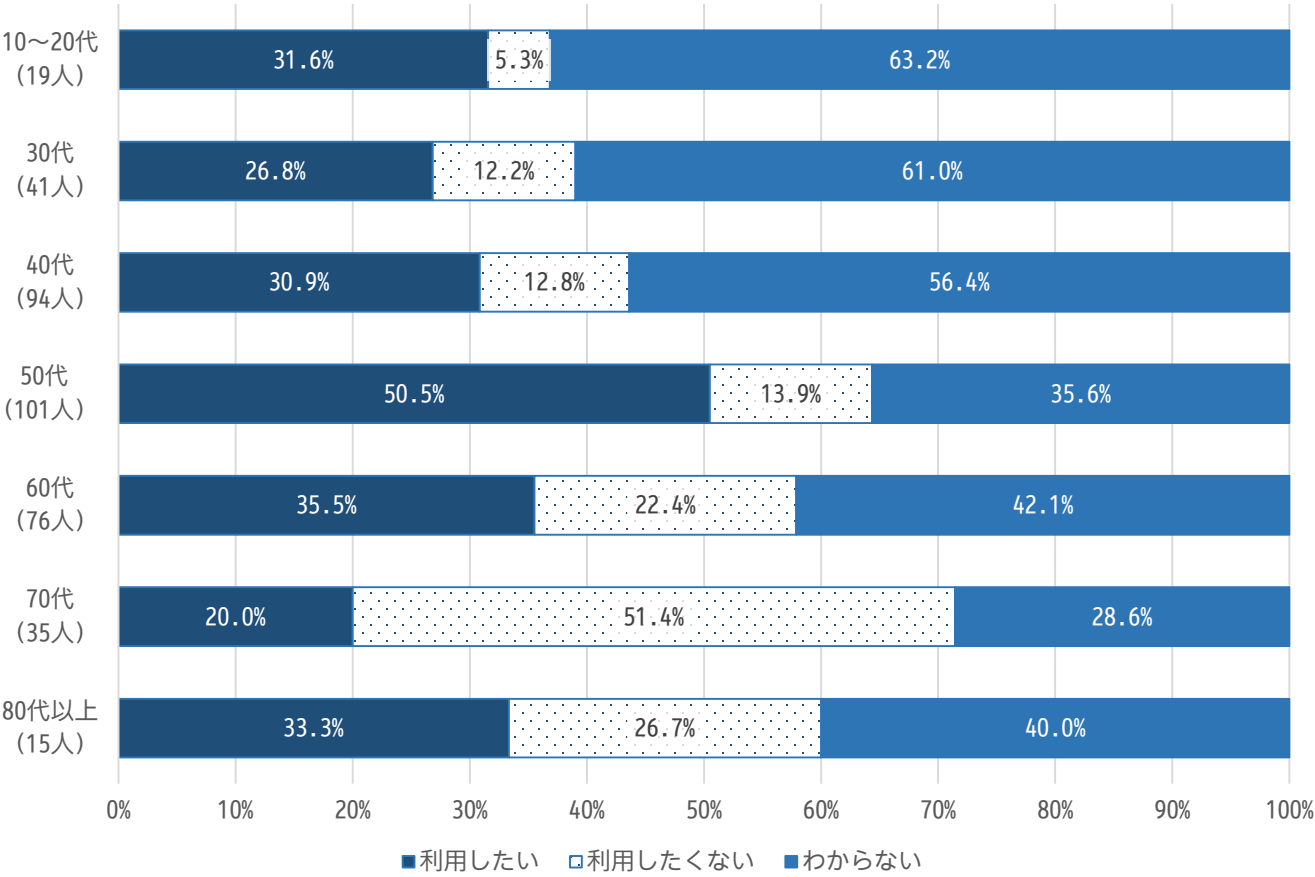
また、合葬墓より樹木葬型合葬墓を希望する方が多い。

問9 郡山市で「樹木葬型合葬墓」が整備された場合、利用したいと思いますか？（1つ選択）

(回答者：381人)

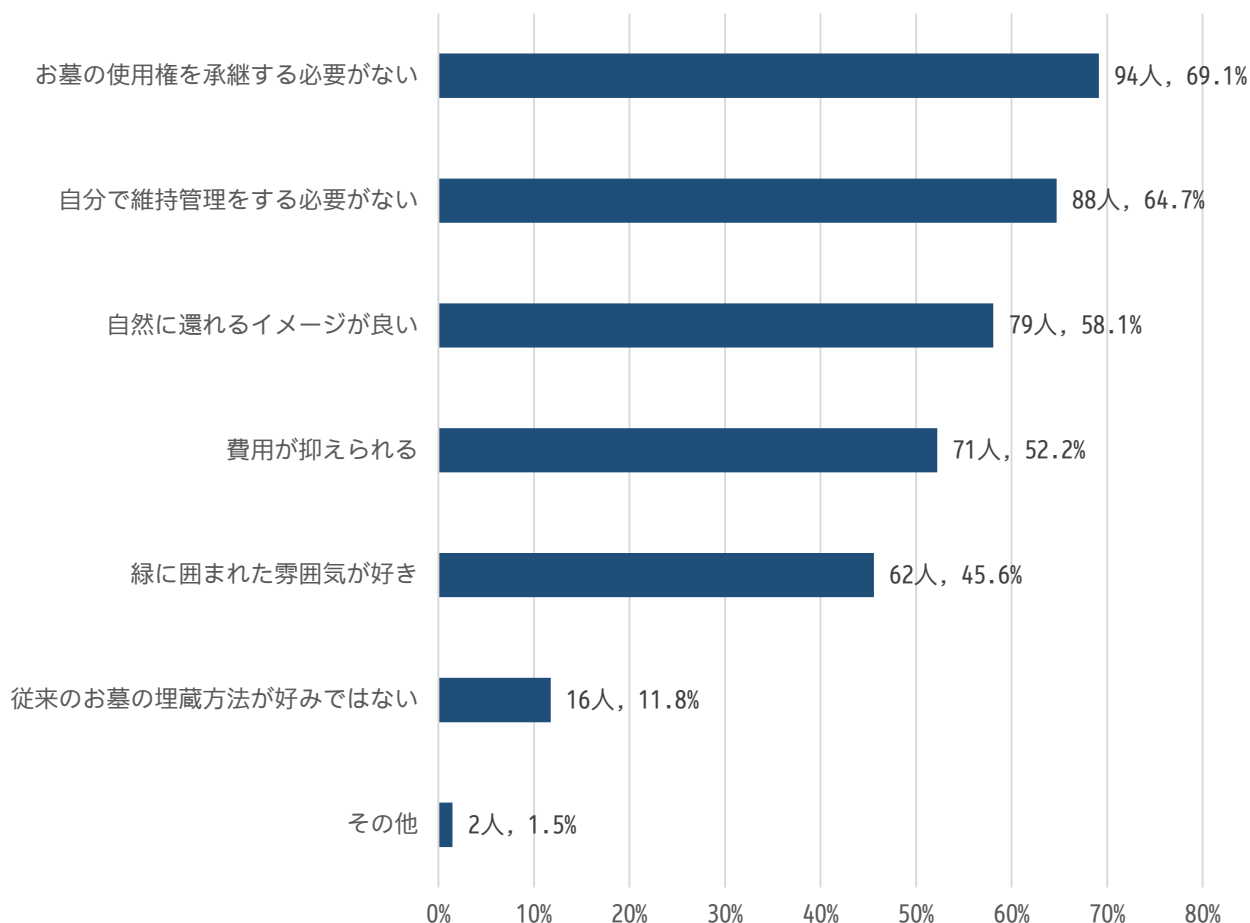


【年代別】



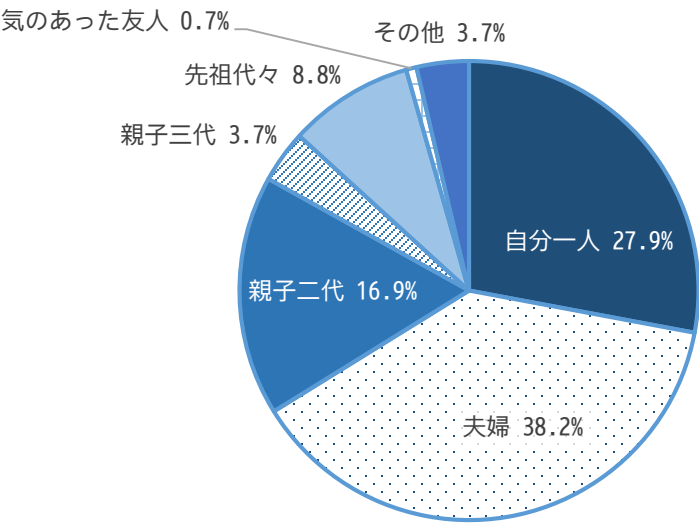
樹木葬型合葬墓を「利用したい」が35.7%、「利用したくない」が18.6%であった。

問10 問9で「利用したい」を選択した方にお伺いします。その理由を教えてください。
(複数選択可) (回答者：136人、全体の35.7%)

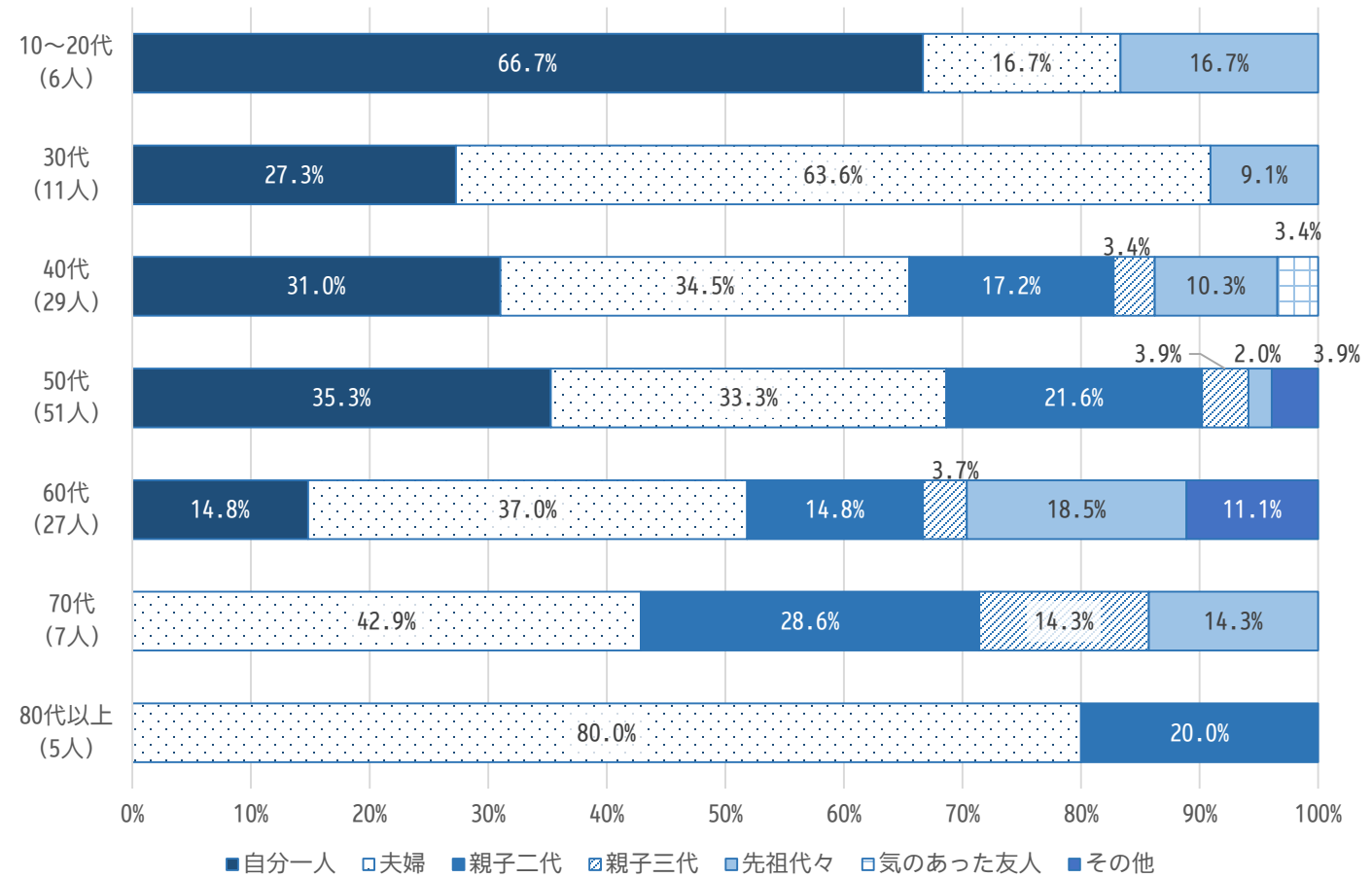


「お墓の使用権を承継する必要がない」が69.1%で最も高く、次いで「自分で維持管理をする必要がない」が64.7%、「自然に還れるイメージが良い」が58.1%であった。
→樹木葬型合葬墓を希望する方は、従来のお墓のように使用権を代々引き継ぎ管理し続けるという負担を避けたいという意識が強いと考えられる。

問11 問9で「利用したい」を選択した方にお伺いします。どのような範囲での使用を希望しますか？
(1つ選択) (回答者：136人、全体の35.7%)

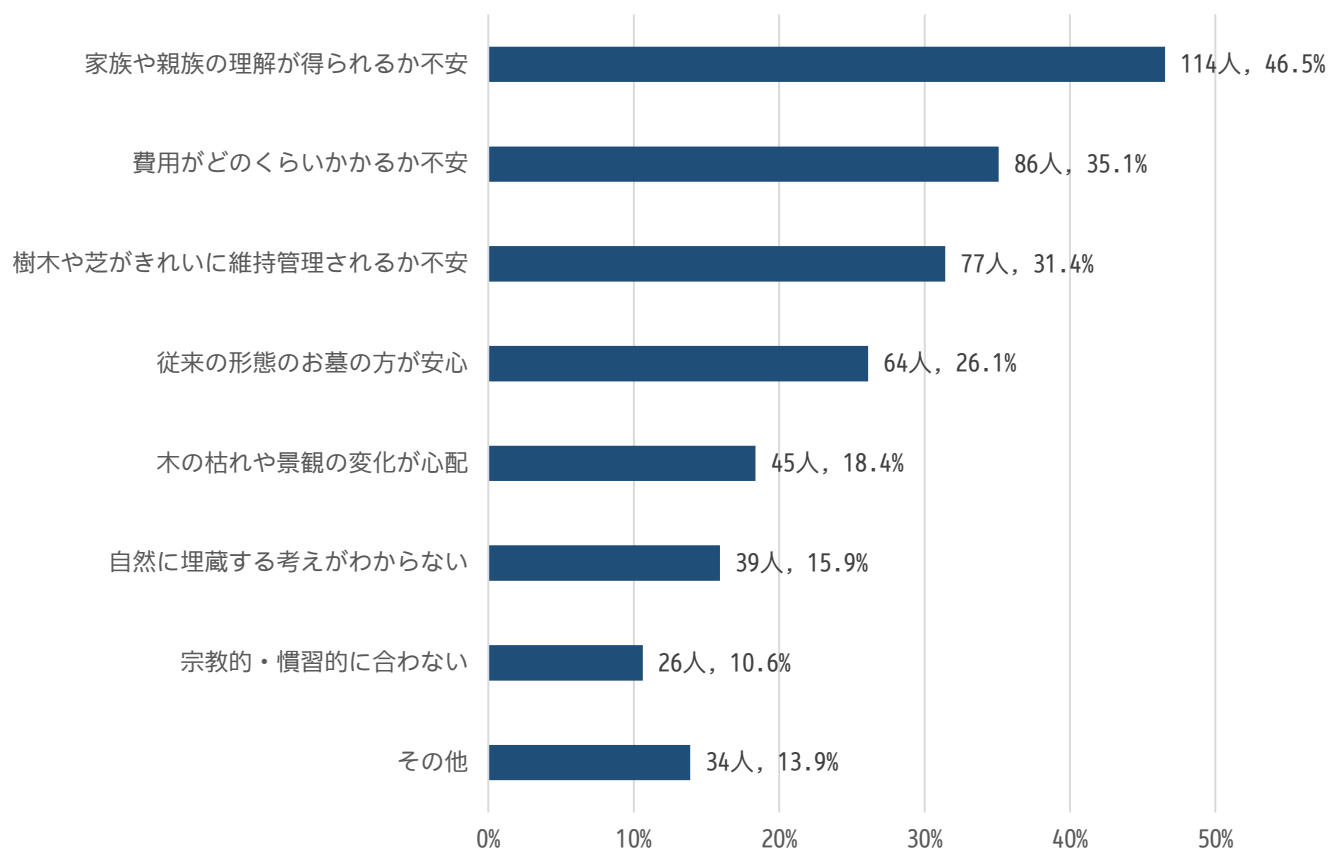


【年代別】



「夫婦」が38.2%で最も高く、次いで「自分一人」が27.9%、「親子二代」が16.9%であった。

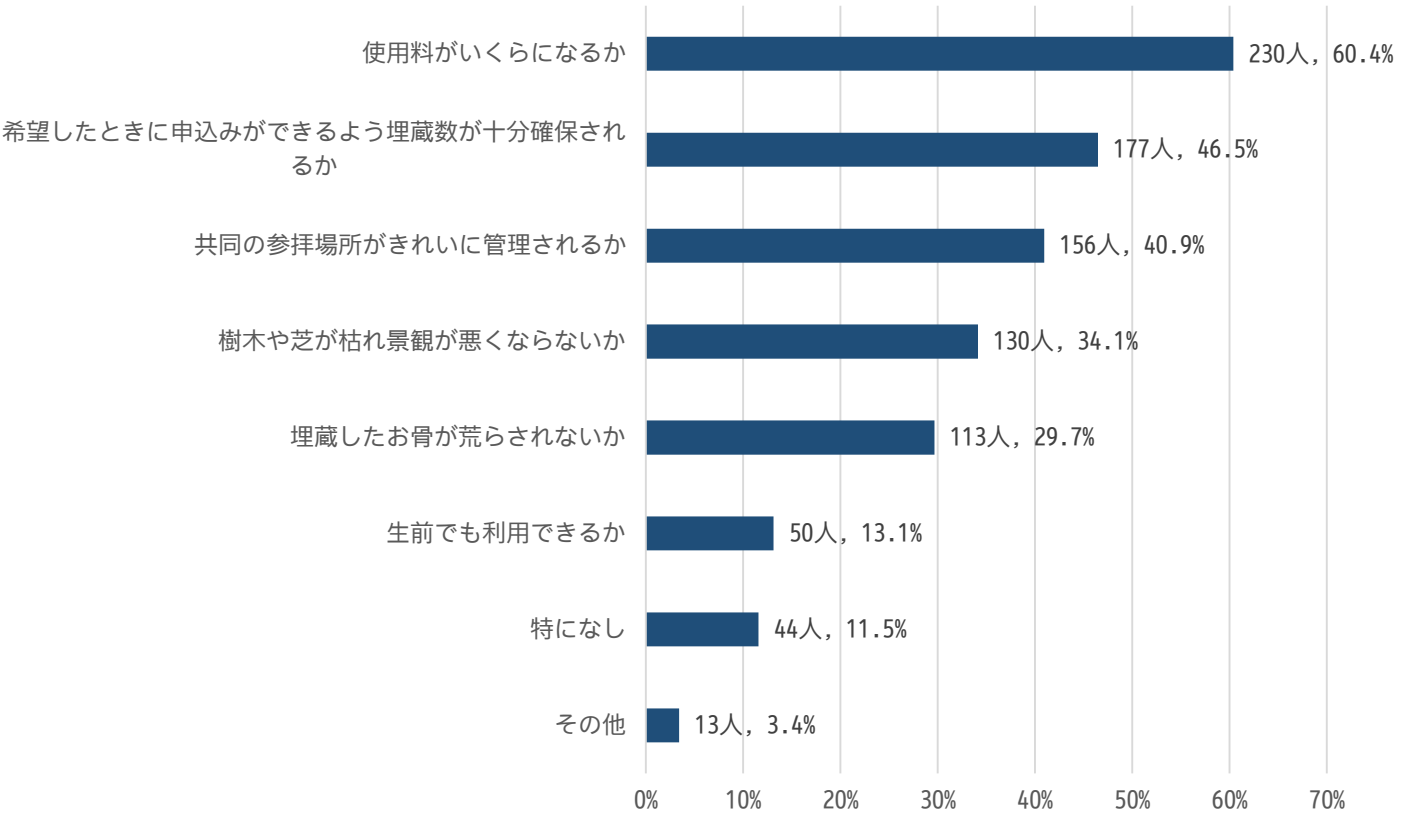
問12 問9で「利用したくない」「わからない」を選択した方にお伺いします。その理由を教えてください。
(複数選択可) (回答者：245人、全体の64.3%)



※「その他」を選択した方の主な意見

- ・他の遺骨と混ざってしまう気がする
- ・景観や美観、その他法要のルールの徹底など維持できる可能性が低く、地域環境の悪化を招く可能性がある

「家族や親族の理解が得られるか不安」が46.5%で最も高く、次いで「費用がどのくらいかかるか不安」が35.1%であった。
→樹木葬型合葬墓の整備を検討する際は、費用や管理内容を明確にするとともに、市民への周知方法も考える必要がある。

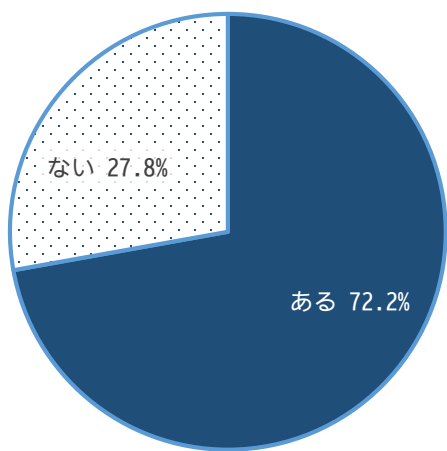


- ※「その他」を選択した方の主な意見
- ・どこに向かって手を合わせればいいのか分からない。
 - ・承継者がいなくなっても樹木葬型合葬墓を利用することができるか
 - ・合同での埋葬場所は愛着が湧かない

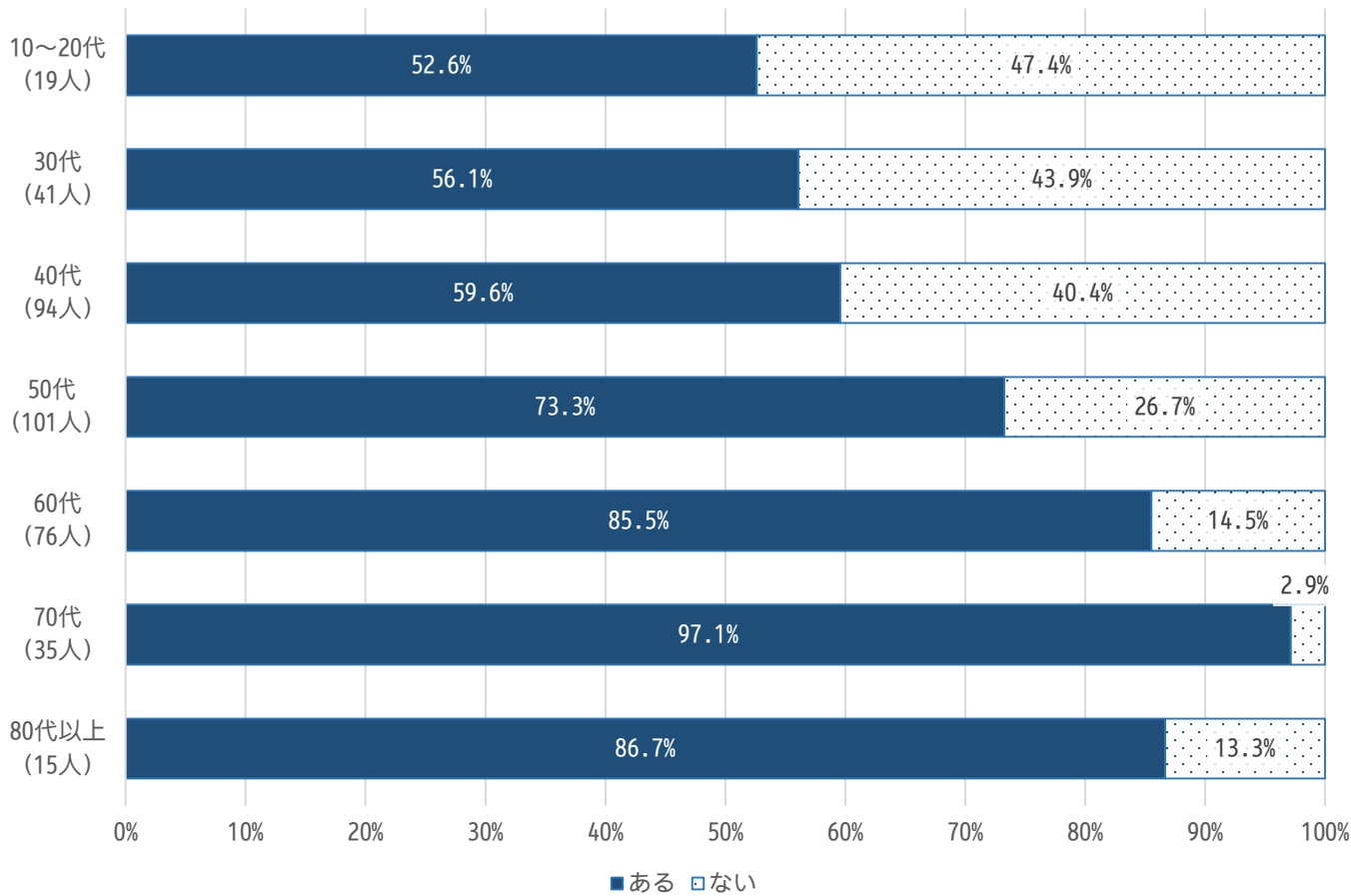
「使用料がいくらになるか」が60.4%で最も高く、次いで「希望したときに申込みができるよう埋蔵数が十分確保されるか」が46.5%であった。
→樹木葬型合葬墓の使用料や埋蔵可能数の検討の際は、市民の需要や他市の事例を参考に検討する必要がある。

問14 東山悠苑を利用したこと（来たこと）がありますか？（1つ選択）

（回答者：381人）



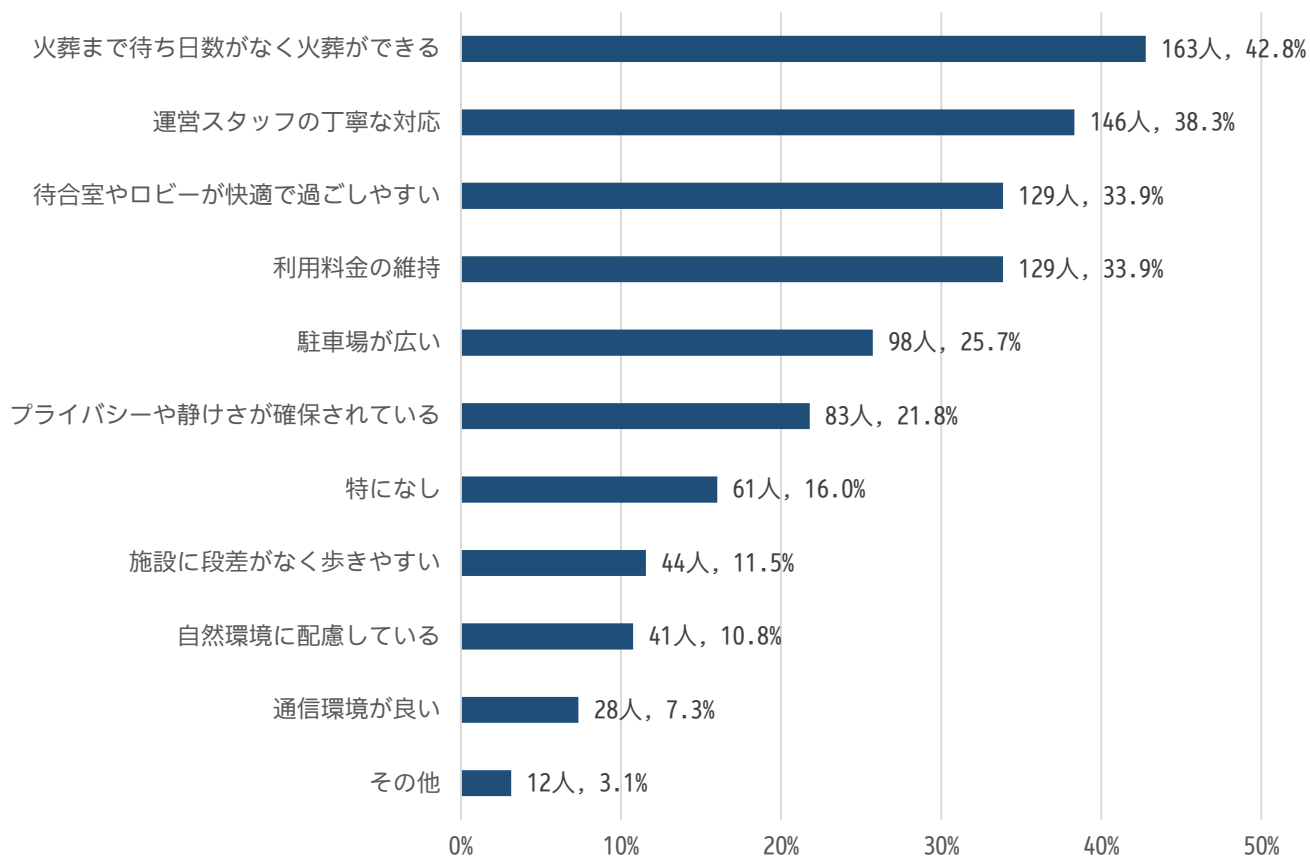
【年代別】



東山悠苑を利用したことが「ある」が72.2%、「ない」が27.8%であった。

問15 東山悠苑の運営や設備等について期待することは何ですか？（3つまで選択可）

（回答者：381人）



※「その他」を選択した方の主な意見

- ・食堂、カフェのように軽食できる場所
- ・お別れ室や収骨室などの施設内の臭いの処理

「火葬まで待ち日数がなく火葬ができる」が42.8%で最も高く、次いで「運営スタッフの丁寧な対応」が38.3%であった。
→今後の火葬件数の増加に対応できる運営が必要である。また、ご遺族の最後の場になることから、利用者への丁寧な対応は今後必要である。

■お墓全般について

- ・自分の親のお墓が他県の為、不便を感じているが、まだ母が存命の為、何ともしようがない。自分の墓や親の墓じまいの事など考える事が多くて困っている。(60代・女性)
- ・現役世代は県外に居住している場合が多い。市街地に公設民営の自動式納骨堂ビルを整備してはどうか？郊外の霊園より、帰省時に気軽に訪れる事ができる。民間の施設を誘致しても良いかと思う。(50代・男性)
- ・宗教や崇拝の自由を子や孫に押し付けていくようで、「先祖代々の墓」自体が重い負担になっていく気がする。(50代・男性)
- ・郡山市外にお墓があり、継承者がいないので墓じまいを検討中。東山悠苑や合葬墓、墓じまいについて色々知りたい。(50代・女性)
- ・子供がお墓を継承するかどうかかわからないので、おそらく自分のみのお墓になると思う。子供がお参りしてくれるうちは個別のお墓で、孫の代になれば合同でも良いかと思う。お墓が、高額にならず、希望した時にスムーズに入れることを願う。(50代・女性)
- ・人口減少にハドメが効かない現状では、埋葬後の管理も期待出来ない。遠方各地に散らばった家族の定期的な法要、墓参り、清掃管理等は期待出来ず、今後の日本社会に馴染まない。身内ご先祖を敬い親しむ気持ちは大切であり、未来に繋げなければならない。時代にマッチした墓地、法要、管理を考案すべきと考える。郊外の大規模墓地はこれからの時代にはそぐわないと思料される。(60代・男性)
- ・お墓を継承する人がいなければ放置され、新たにお墓が増えれば墓地ばかり増えていくと思う(40代・女性)
- ・先ずはお寺との付き合いが大変。お寺所有の墓だと否応なしに年会費、お寺の改装費等が取られる。お葬式費用も高い。(60代・女性)
- ・核家族化が進んでいることや、子どもに頼らずに過ごしたいと考える人が増えるのではないかと考えた時、自分の最後を生前に決め、(終末時の救急蘇生の有無や、納骨場所の決定・契約など)自分で手続きを完了できるようなシステムがどんどんできたらいいと思う。(40代・男性) など

■東山霊園（施設全体）について

- ・昨年東山霊園にお墓を作ったばかりで満足している。我が家も娘2人で心配なこともあるが墓じまいする程ではないと思っている。いつも綺麗にしてくれてありがたい。(60代・女性)
- ・高齢者がバスで行けるように、お盆やお彼岸期間の時間帯を決めた増便が必要(60代・女性)
- ・トイレをもう少し綺麗にしてほしい(40代・女性)
- ・彼岸・お盆の時期等、渋滞が問題だと思う。道路も冬道は側溝もあるため心配。(60代・男性)
- ・東山霊園及び東山悠苑に入る道路が狭く混雑があるため、道路拡張及び信号灯を設備し、スムーズに通行できるように改良してほしい。また東山霊園内においてもスムーズに通行できない場所もあり信号を設置してほしい。駐車場についても道路に駐車してお参りする方が多数見受けられる。駐車場整備をもう一度見直して必ず駐車場に車両を止めるように誘導できるような道路を考えてほしい。(80代・男性)
- ・合葬墓の両側に駐車場が約2台ずつのみで、お盆やお彼岸は混みあう。墓碑も将来的に需要は増え、墓碑スペースが足りなくなることは容易に想像できる。トイレも、合葬墓から道路を渡ったところにあり、古くて利用したくない。身体障がい者には不便。合葬墓の後ろのスペースに「トイレ」、「駐車場」を増やしてほしい。墓地からやや離れた場所に大規模駐車スペースがあるが、営業サラリーマンのサボりお昼寝スペースとなっており、治安が悪い。排除も難しいかと思うが、せめて監視カメラはつけてほしい。トイレや売店や休憩スペースなどあれば助かる。(50代・男性)
- ・以前は公的スペースや個人スペースの除草やお供え花の片付けまで職員の方々が綺麗にしていただけ、さすが東山霊園だと思っていたが、近年は雑草がそのままだったり芝生が燃えたりと手入れが行き届いているとは言えなくなっている。永代管理料を払っているものの今後が心配。(60代・男性) など

■東山霊園（合葬墓、樹木葬型合葬墓）について

- ・「樹木葬型合葬墓」は簡素で良いと思うが、独身者の方も生前に契約していれば納骨できるか？（本人が死亡後も他者が代理で納骨までできるように）（50代・男性）
- ・郡山市の合葬墓に関しては、とてもよい取り組みと思い、私自身も利用したいと思っていた。ただ少し殺風景な感じがしてそこは気になっていたのも、樹木葬についてはとても関心がある。ただ改めてではなく、今ある合葬墓の周囲の環境整備を充実したものに整えるでもいいように思う。（60代・女性）
- ・郡山市内で樹木や草花を墓標にした、永代供養をしてもらえる樹木葬型合葬墓があればぜひ購入したい。（40代・女性）
- ・通常の墓地整備が遅れているように思える。親族も合葬墓にはいっているが、年々そこに入る人も増えて将来自分たちのお墓の確保に不安を感じていたのも 樹木葬合葬墓が考えられていることなどに期待するしかない。（70代・女性）
- ・東山霊園を利用しているが、継承していけるかわからないので合葬墓も良いかもと思う。（40代・女性）
- ・核家族においてお墓を買うメリットはないかと思う。樹木葬などお金がかからない方法があれば期待したい。（40代・男性）
- ・夫婦二人に未婚の子供が居るのでこれから先の事が気になる。墓地に関して樹木葬には、以前から関心があったが葬祭関係者から聞いた話だと普通の墓地より割高だと聞いたので悩んでいる。（60代・女性）
- ・樹木葬に興味はあるが具体的なことがわからず想像しにくい。（60代・男性）
- ・子供たちに負担が少なくシンプルな形での埋葬を望む人はこれからもっと増えると思う。時代の形に合った、樹木葬型合葬墓の整備をお願いしたい。（40代・男性） など

■東山悠苑について

- ・待合室の洋室が増えると良いが、改修の予定はないか。高齢化に伴い座るのがキツく困難になっているので。（60代・男性）
- ・畳の待合室は、膝が悪かったりすると椅子を出さなければいけなかったのも高齢者には使いづらかった。椅子のタイプの部屋は早い者勝ちなので、増やして欲しい。東京の火葬場は、火葬時間も短く冷えた状態で収骨する為帰りの時も熱くない。また、お別れする場所も明るく、悲しみが減った気がした。暗い場所での別れは悲しみを増すので、できれば明るい雰囲気もう少しあれば（もう少し蛍光灯を増やす）、帰りの時も気分的に前を向ける気がする。（50代・女性）
- ・他県の火葬場では、民間（外資）に委託して、火葬場の料金が大幅に値上げされたと聞くので、そういったことにならないようお願いしたい。（50代・女性）
- ・人口に対して火葬炉が足りないのではないかと。東山悠苑程の規模でなく、須賀川地方保健環境組合斎場のような三基程の小規模な火葬場を市内西部に整備するのも一つの方法ではないか。（周辺住民の理解を得るのが大変という課題もあるとは思いますが）（30代・男性）
- ・火葬場の予約するのに思ったより日にちがかかると思う。火葬できる場所が私達が普通に考えているより少ないからだと思う。だからお葬式が終わるまで数日伸びるのかと思う。もう少し使用できる火葬炉を増やせないか？（60代・女性）
- ・東山悠苑内で法要できる場所があれば嬉しい。法要後すぐに墓前で墓参りできると助かる。天気に左右されないのが嬉しい。（50代・女性）
- ・高齢者が多いので、畳の休憩所ではなく椅子とテーブル席にして欲しい。（60代・女性） など